

腓体尾部切除術(DP)を受けられる患者さんへ

患者ID
氏名

担当医
担当看護師

配付日

	入院:1病日 手術2日前	2病日 手術1日前	3病日 手術当日(手術前)	4病日 手術当日(手術後)	5病日 手術後1日目	6病日 手術後2日目	7病日 手術後3日目	8病日 手術後4日目	9病日 手術後5日目	10病日 手術後6日目	11~12病日:退院 手術後8~9日目	【退院後の生活について】
達成目標	・手術後の経過について理解できる										・退院指導の内容を理解できる	(食事について) ・臓器の手術後は、脂肪を分解する酵素が減少し、下痢を起こし易くなります。脂肪分は控え、良く噛んで少しずつ食べてください ・食物繊維は消化しにくいいため、細かく刻んだり、良く煮込んで食べてください (低血糖について) ・食事の時間が遅れたり、運動量が多い時は、低血糖が起こる前に80カロリー程度の補食(ビスケット、果物等)をしてください ・低血糖症状を感じたら、ブドウ糖や糖質を含むジュースなどを飲んでください。常にポケットやバッグ等に入れ携帯してください (嗜好品について) ・手術後は、消化吸収機能が低下しているため、飲酒は控えてください。多量の飲酒は低血糖を起こす危険があります (日常生活について) ・手術後は、力仕事を行うと腹壁のヘルニアなどの合併症を起こすことがあります。3ヶ月~半年は中山式腹帯を巻いて、お腹に力を入れないようにしてください ・仕事は医師に確認してから始めてください 以下の症状がある時はご連絡ください ・38.0度以上の発熱 ・創部の出血、浸出液 ・吐き気、嘔吐 ・腹痛 ・便が白っぽい 【緊急連絡先】 ・平日時間内(8:30~17:00) 肝胆膵外科 外来 0985-85-9885 ・土日・祝日、時間外 3階東病棟 0985-85-1769
内服	・薬剤師が、持参薬および服薬状況について確認します	・21時に下剤を内服します							・痛み止めの薬を内服します			
手術			手術									
注射			・点滴をします							・点滴を抜きます		
検査		・採血		・採血	・採血 ・レントゲン	・採血 ・レントゲン	・採血 ・レントゲン	・採血	・採血 ・レントゲン	・採血/レントゲン (手術後5、7日目)		
処置		・おへそをきれいにします ・腹部の剃毛をします	・弾性ストッキングを着用します	・フットポンプをつけます	・手術室でドレーン(管)を腹部に入れます	・手術室で尿の管を入れます	・心電図、酸素飽和度モニターをつけます	・心電図、酸素飽和度モニターを外します	・医師の指示でフットポンプを外します ・歩行後は、弾性ストッキングを脱ぎます	・ドレーン(管)を抜きます ・創部を確認し、必要時はガーゼを交換します	・創部を確認します	
食事	・制限はありません	・夕食後は、指示された時間から飲食はできません	・飲食はできません	・医師の指示後、飲水を開始します	・医師の指示後、経口流動食から開始し、低脂肪粥食へ変更します							
活動・安静	・制限はありません		・病室内でお過ごしください	・ベッド上安静です ・体の向きを変えたい時は看護師が介助します ・排便はベッド上で行いますので、ナースコールでお知らせください	・病棟内は制限ありません ・初めて歩くときは看護師が付き添いますので、ナースコールでお知らせください						・制限はありません	
清潔	・制限はありません	・剃毛後にシャワー浴をしてください	・洗面、歯磨きを済ませてください	・看護師が顔拭き、歯磨きを介助します	・身体を拭きます ・看護師が顔拭き、歯磨きを介助します				・状態に合わせて、シャワー浴となります ・肺炎予防のため歯磨きは必ず行ってください			
リハビリ												
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が手術の説明をします ・手術室の看護師が、手術に伴う確認や諸説明をします ・患者用クリニカルパスを用いて、治療スケジュールについて説明します									・管理栄養士が、低脂肪の食事について栄養指導を行います	・退院後の生活について説明します	
その他	・手術の同意書は職員にお渡しください ・手足の爪を切り、マニキュアは落としてください ・手術前訓練として、深呼吸やハフティングの練習、トライボールを用いての呼吸訓練を行います		・手術衣に着替えます ・義歯、コンタクトレンズ、時計、アクセサリー等は外し、保管してください ・貴重品は、ご自身又はご家族で管理してください ・ご家族は、3階デイルーム・面談室で待機してください。場所を移動される時は必ず職員へお声掛けください	・集中治療室に入室します ・集中治療室入室中のご家族は、集中治療室前の家族控室をご利用ください	・状態に合わせて病棟に移動します				・肺炎予防のため、トライボールを使用し、継続して呼吸訓練を行います			

診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。

